

吾聞之	耳尠好似	葦若末乃	足痛吾勢	勤多扶倍思	万葉集 卷二 128 石川郎女
我れ聞きし	耳に好く似る	葦のうれの	足痛く我が背	勤めたぶべし	
われききし	みみによくにる	あしのうれの	あしひくわがせ	つとめたぶべし	
聞いてるわよ	耳によく似て	葦の先のような	細い足を引きずるあなた	どうかお大事にね	